

平成29年6月30日
杉並区立杉並第十小学校
校長 山口 京子

6月24日の土曜授業

6月の土曜授業は、道徳授業地区公開講座を行いました。1校時は1年生、3年生の道徳授業、2校時は2年生、4年生、6年生の道徳授業、3校時は済美教育センター教育指導教員の日浦克子先生による5年生の道徳授業を公開しました。その後の意見交流では、保護者の方や地域の方にご参加いただきて命について話し合い、交流を深めることができました。ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。



1年生 道徳「はしのうえのおおかみ」

意地悪だったおおかみが、思いやりのある温かい態度の素晴らしさに気付くお話を聞き、おおかみの気持ちの変化を話し合いました。誰に対しても温かい心で親切にしようとする心情を育みました。



2年生 道徳「ふしぎな音」

自分の心臓の音を聴診器で聞く活動をし、目を輝かせながら力強い「命の音」に耳をすませました。「生きている」ことを一人ひとりが実感し、自分の心臓宛ての手紙を書きました。



3年生 道徳「お母さん なかなかいで」

誕生会の日に事故で友達を失った「わたし」。「わたし」の心情を追いかながら、命の尊さについて考えました。そして、命は大切だと思った経験について、友達や保護者の方と交流しました。



4年生 道徳「いのちのまつり」

男の子とおばあさんのお話の中から自分の命がずっと繋がっていることを学びました。その繋がっている命を大切にするにはどのようにすればよいのか考え、友達と話し合いました。



5年生 道徳「命」

学年合同で保護者の方とも一緒に「命」について考えました。「命」とは何だろう。「精いっぱい生きる」とはどのようなことだろう。一人一人がしっかりとと考え、自分の考えをグループで発表し合いました。



6年生 道徳「ブランコ乗りとピエロ」

「広い心」についての授業をしました。イメージがとらえにくい「寛容」について感じ取るため、教材「ブランコ乗りとピエロ」を通して、自分勝手なブランコ乗りに対して、広い心でブランコ乗りの立場に立ったピエロの考え方を学びました。



道徳授業地区公開講座 公開授業 「命」～生きるということ～

済美教育センター 教育指導教員 日浦 克子先生

今年度は、講演会という形ではなく、子どもたちと保護者の方々や地域の皆様が一緒に授業を行う「公開授業」を行いました。講師は、元本校教員で現在は済美教育センターで教育指導教員をしている日浦克子先生にお願いしました。日浦先生からは、授業を始める際に「道徳で考えた答えは、全部が正解なんだよ」というお話をありました。病気と闘いながら11歳で亡くなった由貴奈さんが書いた「命」という詩を読み、彼女がどんな思いでこの詩を書いたのか等をグループで話し合いました。このグループにはご参加いただいた保護者や地域の皆様に入っていただき、子どもたちと一緒に考えたり話し合ったりしました。どのグループの話し合いも、温かな雰囲気でたくさんの意見が出していました。道徳の授業を共に体験するという、貴重な時間になりました。

(5年生保護者の方の感想)

親も一緒に話し合い、詩を書いた女の子の気持ち、そして、生きるということを考えることができました。とてもいい経験をさせていただき、ありがとうございました。

(5年児童の感想)

これからせいいっぱい生きられるところまでがんばって生き、人生を思いっきり楽しみたいと思います。また、私を産んでくれ、健康な体に育てくれた両親、兄弟に感謝しながら生きていきたいです。